放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表	2019年3月20日	事業所名	ベストサポート株式会社　児童デイサービス なのはな

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		療育の内容によってスペースを区切って活用しています。	療育の内容に応じてスペースを区切っています。同じ空間での療育となりますので視覚や聴覚からの刺激がないよう配慮した空間作りを行います。
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士等専門知識をもった職員を配置するようにしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープなど傾斜があり滑りやすい場所などに滑り止めの加工をしました。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		週一回のクラスミーティングで目標設定・支援方法を共有し、取り組んでいます。	毎月6月にはグループ全体で研究発表会を行い、,各事業所がそれぞれ、目標設定し取り組んできた業務改善の内容を発表し評価する機会を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの実施・聞き取りを行い、保護者の意向を把握し可能な限り改善に向けて取り組んでいます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公表しています。公表している内容を振り返り日々の支援に活かしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			2019年度から外部アドバイザーを検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部・内部の研修・研修発表会・業務改善発表会も実施しています。	毎年11月にはグループ全体で困難事例等の支援で色々な技法を使い取り組んだ研究を全事業所が発表し評価を行い、各事業所のスキルアップに役立てています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者・利用者のニーズを踏まえ、将来を見据えた計画作成に努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント評価シートを使用しています。年一回は見直しをしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		クラスミーティングで検討し児童の特性に合わせたものを作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の特性に合わせた活動を狙いに合わせて実施しています。高齢者との交流も行っています。	グループ全体で、市の体育館を借りバトミントン等の運動交流を行ったり、けん玉やオセロ等の得意な児童は練習をしてグループ内で検定を行う等児童の特性に合わせて得意なところを伸ばしていける様工夫している。音楽療法を定期的に行っており、合唱コンクールを開催する予定。外国人講師による英会話教室も計画しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇や休日など地域との交流や社会科見学を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童の変化や特性などクラスミーティングにて検討し個々に合わせたものを作成ています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援に入る前に当日の支援について話し合い、起こりうる事象を想定し担当を決めて行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返り感じたことを話し合い、職員間で統一した支援に向け情報を共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用時の様子など気づいた点や変化のあった点など記録しています。関係機関と情報交換を行った際も記録を残しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングにより児童の変化・成長に合わせて支援計画の見直しや変更を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて活動が偏らないように組み込んでいます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		クラスミーティングで児童の変化や気づきについて話しあい詳しく情報をお伝えできるよう努めています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校からのお便りや学年通信などで情報を頂いています。当日の様子など確認の必要な場合は必ず連絡をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		緊急時の措置や連絡体制についてスタッフ間で情報を共有し行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		他事業所からの受け入れや関係事業所への移行の際は情報を共有し行っています。グループ内では会議を開き情報を共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		就労支援Ｂ型への移行の際などは就労の現場を体験して頂き、児童についての情報を書面・口頭にて提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要に応じて児童発達支援センターの専門職員に助言を求めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域との交流は祭りなどのイベントを通して行っています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			必要に応じて参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話・連絡帳・送迎時に状況をお伝えしお家での状況を聞き取り、支援に反映しています。保護者と協力し同じ支援が行えるようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		児童の支援について家庭でも行えるものなどアドバイスをしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		重要事項説明書を使用し説明しています。質問に対してその都度返答させて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者の思いや悩みを聞き取り、共感し場面にあったアドバイスをしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者説明会を行い交流して頂いています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付窓口担当者、苦情解決担当者、相談苦情・虐待予防受付ＢＯＸの設置を行い、迅速な解決に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的にお便りをだし、連絡帳等を通して詳しくお伝えしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		保護者の同意を得て写真など取扱いに気をつけています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		分かりやすい言葉・文章・絵カードを通して、意思の疎通ができるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベントの際は御案内を行い、地域との交流をしています。	グループ全体で、春祭り・秋祭りを開催、地域住民の方や高齢者の方、障がい者の方と触れ合うことで、児童の社会性を養うことにも役立てている。又”ひばり道の駅”の開催で地域住民の方と交流し、物品の販売等職業体験を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各委員会を設置し職員全体で周知しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年２回避難訓練の実施と月１回避難経路・建物の検査をしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に向け常に話し合い、適切な対応ができるように職員間で声を掛け意識付けをしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		事例に基づき話し合いマニュアルを作成。保護者に説明を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		児童のアレルギー一覧表を作成し対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット・事故トラブルなど記録を残し、職員間で話し合い再発防止に努めています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。